

令和元年10月1日現在の待機児童数および
「福島市待機児童対策緊急パッケージ」について

福島市 こども未来部

- 1 R1.10.1現在の待機児童数(速報値)
- 2 令和元年度「待機児童対策緊急パッケージ」主な実績(H31.4月～R1.10月)
- 3 令和2年4月1日の待機児童解消に向けた取り組み
- 4 令和2年度 待機児童対策推進パッケージ(案)

待機児童の状況

令和元年10月1日現在の待機児童数 112人

今年4月 97人と比べ15人の増加

前年10月 142人と比べ30人の減少

待機児童数の 推移	H28※		H29		H30		H31	
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月
福島市の 待機児童数	125	189	223	250	112	142	97	112
入所 不承諾数	483	737	520	667	397	506	410	490
福島県の 待機児童数	462	742	616	853	371	693	274	—
国の 待機児童数	23,553	47,738	26,081	55,433	19,895	47,198	16,772	—

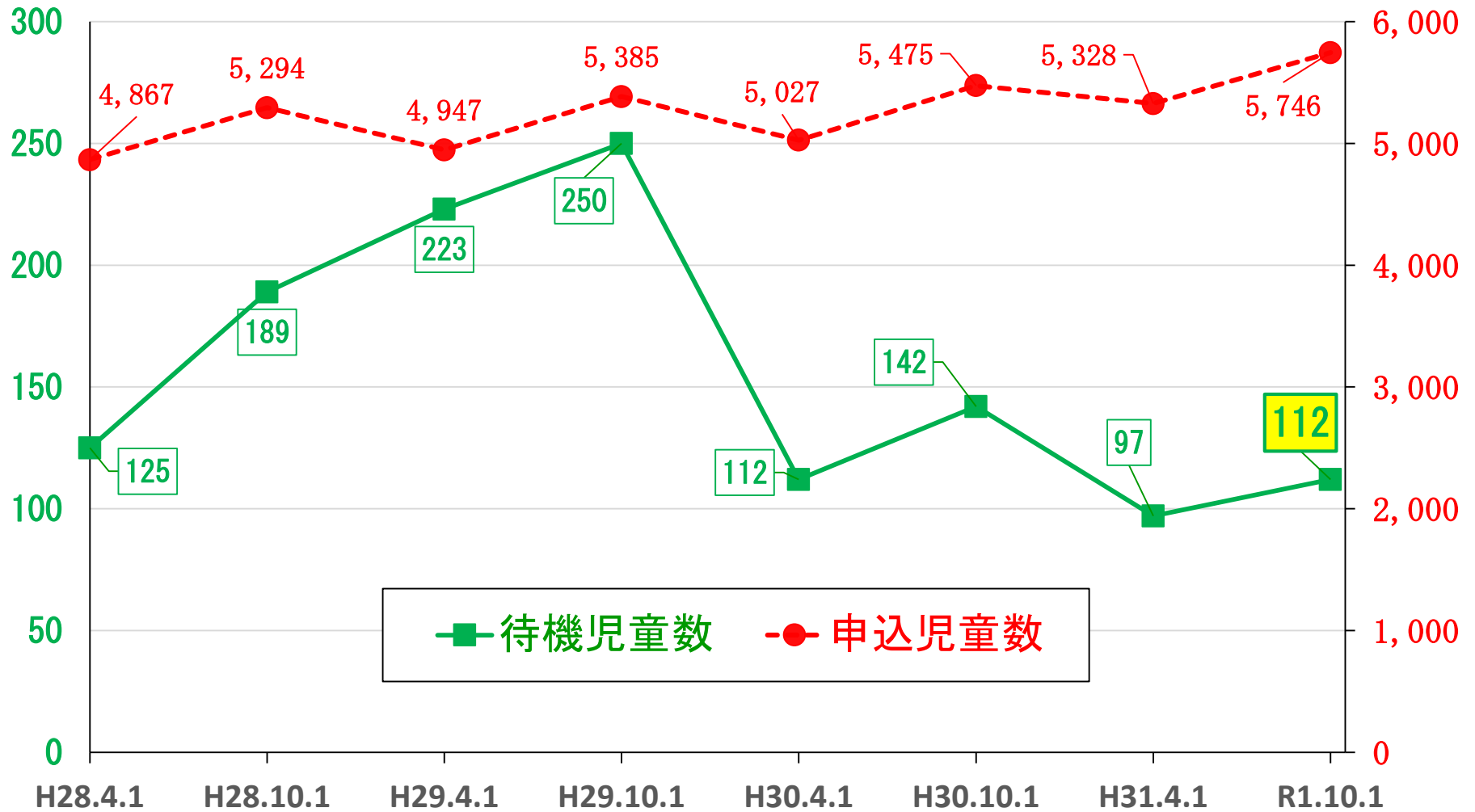
※改正前の調査要領に基づく計数

福島市の待機児童数の推移

申込児童数と待機児童数の推移

待機児童数(人)

申込児童数(人)



基準日

(1) 保育施設の充足率

平成31年4月1日と令和元年10月1日現在の状況

施設類型	入所児童		保育定員		充足率	
	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1
公立保育施設	923人	979人	1,090人	1,090人	84.7%	89.8%
私立保育所	3,035人	3,157人	2,830人	2,830人	107.2%	111.6%
私立認定こども園	619人	711人	678人	752人	91.3%	94.5%
地域型(小規模)	315人	397人	351人	374人	89.7%	106.1%
合計	4,892人	5,244人	4,949人	5,046人	98.8%	103.9%

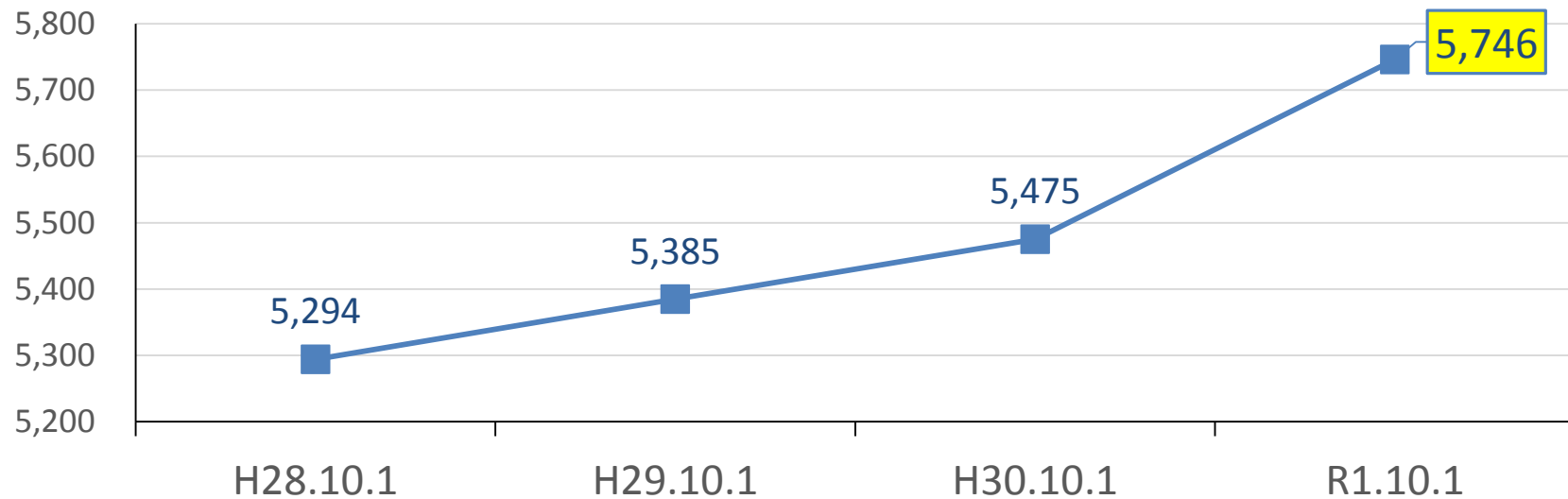
充足率の比較

施設類型	4/1	10/1	比較
公立保育施設	84.7%	89.8%	+5.1
私立保育所	107.2%	111.6%	+4.4
私立認定こども園	91.3%	94.5%	+3.2
地域型(小規模)	89.7%	106.1%	+16.4
合計	98.8%	103.9%	+5.1

(2) 申込者数(在園児+新規入所)の増加

申込者数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28年10月1日	702	952	1,015	868	893	864	5,294
H29年10月1日	713	973	998	976	849	876	5,385
H30年10月1日	728	1,011	1,021	970	920	825	5,475
R1年10月1日	725	1,034	1,067	1,014	974	932	5,746

申込者数(人) 各年度10月1日の申込者数の推移



1 保育の受け皿の拡大

(1) 施設整備による認可保育定員の増 93人の増加

【内訳】私立認定こども園 74人、地域型保育事業(小規模) 19人

施設種別	整備区分	認可保育定員数(人)			開所時期
		整備前	整備後	増減	
小規模(公募)	創設	0	19	19	R1.5.1
私立認定こども園①	増改築	74	85	11	R1.8.1
私立認定こども園②	増改築	75	138	63	R1.10.1
合計		149	242	93	

(2) 企業主導型保育施設定員数 78人の増加

施設種別	整備区分	保育定員数(人)			開所時期	備考
		整備前	整備後	増減		
企業主導型保育施設	創設	0	78	78	R1.10.1	従業員枠39人 地域枠39人
合計		0	78	78		

【企業主導型保育施設】

企業が国から直接支援を受けて整備する従業員を対象とした保育施設。
従業員枠と地域枠がある。

(3) 保護者相談支援事業

保護者の相談窓口として専任の職員を配置。

保護者のニーズに合う多様な保育施設の紹介を実施。

(4) 公立保育所保育士採用

例年9月実施の採用試験を6月に実施した。合格者8人。

《平成30年度以降 保育士25人増》

保護者相談窓口
平成31年4月～令和元年10月実績

相談内容	H31.4～ R1.10	H30.3～ H31.3
保育所入所	83	267
幼稚園入園	14	24
一時預かり	4	18
入所施設について	15	40
家族の状況	32	84
施設に対する苦情	8	3
その他	9	54
合計	165	490

(5) 保育士相談支援事業

- ①保育士メンタルヘルスのため、職場環境などの相談に対応。
- ②潜在保育士からの就労に関する相談に対応。
【就労実績】公立：6人、私立：7人
- ③クラス別マネジメント研修の実施。

保育士相談窓口相談件数
平成31年4月～令和元年10月実績

相談内容	H31.4～ R1.10	H30.3～ H31.3
勤務先の施設に関する相談	17	13
就労相談	196	281
その他	0	7
合 計	213	301

就労相談からの就労実績
平成31年4月～令和元年10月実績

就労実績	H31.4～ R1.10	H30.3～ H31.3
公立	6人	8人
私立	7人	9人
合計	13人	17人

(6) 保育人材バンク

人材バンクに登録した保育士等を認可保育施設への就業につなげた。

保育人材バンク
平成31年4月～令和元年10月実績

職種	H31.4～R1.10		H30.12～H31.3	
	登録人数	就労	登録人数	就労
保育士 幼稚園教諭	13人	6人	30人	30人
調理職	1人	1人	20人	18人
栄養士	3人	0人	2人	0人
その他	10人	2人	3人	0人
合計	27人	9人	55人	48人

(7) 保育士等確保対策事業

①認可保育施設見学会（令和元年8月7日開催 14人参加）

保育士を志す高校生を対象に、公立認定こども園、私立保育所、地域型保育事業（小規模保育）の施設を見学し、現職保育士とのグループワークを行った。

②就職相談会（第1回 令和元年10月26日開催 13人参加）

就業を希望する保育士等が、保育士を募集している認可保育施設から就業に関して直接話を聞く機会を作った。

就職相談会実績

就職相談会	H30年度①	H30年度②	H30年度③	R1年度①
開催日	H30.8.18	H30.10.20	H31.2.9	R1.10.26
参加者	5人	11人	8人	13人
参加施設	15	9	8	7

(8) 潜在保育士就労支援事業

公立保育所(1か所)において研修を実施。1人。

潜在保育士就労支援事業	区分	H31.4～ R1.10	H30.3～ H31.3
保育施設で研修した人数	公立	1人	2人
	私立	0人	0人

(9) UIJターン保育士就労支援事業

県外からの転入保育士4人に対して補助。(令和元年11月現在)

UIJターン保育士就労支援事業	H31.4～R1.10	H30.3～H31.3
福島市へ転入して 保育士として就労した人数	4人	3人

(10) 保育士宿舎借り上げ支援事業

保育士の処遇改善として10施設で実施。対象者15人。

保育士宿舎借り上げ 支援事業	H31.4～R1.10	H30.4～H31.3
実施施設	10施設	3施設
対象者	15人	5人

(11) 保育支援員雇用支援事業

私立保育施設において保育士資格を持っていない方を保育支援員として雇用。

保育士の負担軽減として24施設で実施見込み。

保育支援員雇用支援事業	H31.4～R1.10	H30.4～H31.3
実施施設	24施設	14施設
保育支援員	—	21人

(1) 認可保育施設の整備による保育定員の拡大

施設種別	整備区分	認可保育定員数(人)			開所予定
		整備前	整備後	増減	
私立認定こども園①	創設・改築	0	151	151	R2.1.1
私立保育所	創設	0	90	90	R2.2.1
小規模(認可化移行)	移行	0	19	19	R1年度中
私立認定こども園②	創設	0	60	60	R2.4.1
合 計		0	320	320	

(2) 保育士の確保

【潜在保育士の確保】

- ① 保育士等確保対策事業（保育補助者雇用支援）
- ② 潜在保育士就労支援事業
- ③ UIJターン保育士就労支援事業
- ④ 保育人材バンク事業

【新卒保育士の確保】

- ① 保育士奨学資金貸付事業
今年度実績 22名
(令和元年11月現在)

修学先養成施設	人数
市内の大学等	13人
東北地区の大学等	4人
首都圏の大学等	5人
合計	22人

- ② 東京、仙台方面の保育士養成校へのPR
- ③ 保育士募集動画によるPR

(3) AIを活用した入所選考

令和2年4月入所児童の選考作業にAIを導入し、希望施設数の増(現在3施設→導入後6施設)によるマッチングの拡大により待機児童の解消を目指す。

(4) 私立幼稚園預かり保育支援事業

保育の受け皿として預かり保育を実施する幼稚園の拡充により、待機児童の解消を目指す。

預かり保育 支援事業	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施施設数	4施設	5施設(見込み)	6施設(予定)

(5) 保育関係記録共通様式作成プロジェクトチーム

私立保育施設より6名・公立保育施設より6名の保育士に協力いただき今年度のべ6回の協議を実施。(全体会3回、部会3回)

最終打合せ・全体説明会：令和2年1月実施予定。

(6) 地域型保育事業(小規模保育事業)連携施設設定推進事業

私立幼稚園、私立認可保育施設、小規模保育事業者と市幼稚園・保育課が連携施設について意見交換の場を設定し、実効性のある連携施設のあり方について協議を行う。連携施設の設定により、保護者に小規模保育事業への入所を希望していただけるようにする。

保育の受け皿の拡大

1 施設整備による
利用定員の拡大

- (1) 国の補助事業を活用した認可保育施設の整備推進
(児童福祉施設等整備事業)
- (2) 企業主導型保育事業整備

2 既存施設での
受入拡大

- (1) 幼稚園預かり保育の充実
- (2) 保護者相談業務を充実し、多様な保育を紹介
- (3) 入所選考にAIを活用し入所希望施設数増によるマッチングの拡大

(保育の受け皿の拡大)		財源			継続 ・ 新規	概要
		国	県	市		
1 施設整備し利用定員を拡大						
(1)	児童福祉施設等整備	○	○	○	継続	既存施設の改修による定員増
(2)	企業主導型保育支援			○	継続	企業が設置する企業主導型保育施設の経費の一部補助
2 既存施設での受入拡大						
(1)	私立幼稚園預かり保育支援			○	継続	預かり保育を充実させる私立幼稚園へ経費の一部を補助
(2)	保護者相談支援	○	○	○	継続	保護者ニーズとのマッチング
(3)	AIを用いた入所選考			○	継続	入所選考にAI(人工知能)を活用。希望施設数増によるマッチングの拡充。

保育士の確保

1 現職保育士の支援

処遇改善

(1) 保育士宿舎借り上げ支援

労働環境改善

(2) 保育支援員の雇用支援
(3) 保育士が働きやすい
ふくしま市環境づくり事業
(4) マネジメント研修等の実施

2 潜在保育士の確保

就労支援

(1) 保育補助者の雇用支援
(2) 保育所実地研修事業
(3) 就職相談会等サポート事業
(4) UIJターン保育士就労支援
(5) 保育人材バンクの設置
(6) 就労マッチングサポート事業

3 新卒保育士の確保

就学支援

(1) 保育士等奨学資金貸付事業

就労支援

(2) 施設見学会等サポート事業
(3) 保育士デビューサポート事業

(保育士の確保) 1 現職保育士の支援		財源			新規 ・ 継続	概要
		国	県	市		
(1)	保育士宿舎借り上げ支援事業	○		○	継続	保育士の宿舎を借り上げる保育施設へ経費の一部を補助
(2)	保育支援員(保育士資格なし)雇用支援	○		○	継続	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設へ経費の一部を補助
(3)	保育士が働きやすい ふくしま市環境づくり 事業 ①保育士相談窓口開設 ②保育士職場環境改善チームの設置 ③保育士のベストオフィス表彰事業			○	①継続 ②新規 ③新規	①保育士の相談窓口の設置 ②保育士職場環境改善チームを設置し、巡回によるアドバイスや現場の声の聴き取りを行い、働きやすい職場環境の整備を図る。また苦情には迅速に対応する。 ③在職保育士の評価により「ワークライフバランス」「処遇」「働きがい」部門で良好な成績の事業所に対して表彰を行い、市全体の保育職場環境の底上げを図る。

(保育士の確保) 1 現職保育士の支援		財源			新規 ・ 継続	概要
		国	県	市		
(4)	マネジメント研修事業			○	①継続 ②新規	①マネジメント研修の実施 ②保育施設トップセミナー事業 法人代表者及び施設長対象 のトップセミナーにより保育職 場環境の向上を図る。

(保育士の確保) 2 潜在保育士の確保		財源			新規 ・ 継続	概要
		国	県	市		
(1)	保育補助者(保育士資格あり)雇用支援			○	継続	潜在保育士を保育補助者として雇用する保育施設へ経費の一部を補助
(2)	潜在保育士就労に向けた研修事業			○	継続	①公立保育所での実地研修を実施し就労を支援 ②私立保育施設で実地研修を実施し、就労を支援した経費の一部を補助
(3)	保育士等就労サポート事業			○	継続	就職相談会の開催等により就労を支援
(4)	UIJターン保育士就労支援事業			○	継続	県外在住保育士等が市内認可保育施設等へ就労する際の必要経費を補助

(保育士の確保) 2 潜在保育士の確保		財源			新規・継続	概要
		国	県	市		
(5)	保育人材バンク事業			○	継続	市内の保育施設等への就労を支援するため「保育人材バンク」を活用
(6)	保育士さんを探せ 就労マッチング サポート事業			○	新規	保育士資格を有し活用していない保育士(特定教育・保育事業所及び認可外保育施設以外の事業所で勤務している保育士)の友人・知人を保育人材バンクに紹介し、市内の私立認可保育施設に保育士としてフルタイム就労した場合、紹介者と当該保育士の双方に1万円を給付する。継続した3年間の就労により、保育士にさらに3万円を給付し保育士確保を図る。

(保育士の確保) 3 新卒保育士の確保		財源			新規・継続	概要
		国	県	市		
(1)	保育士等奨学資金貸付事業			○	継続	保育士養成校の学生に修学のための資金を無利子で貸付 卒業後市内の保育施設等への就労状況に応じ返還を減免
(2)	保育士等就労サポート事業			○	継続	保育施設見学会、就職相談会の開催等により就労を支援
(3)	保育士デビューサポート事業			○	新規	①保育士養成校等で就職相談会を開催し、新卒の保育士の確保を図る。 ②保育士募集PR動画により福島市の保育士支援内容を周知し、保育士確保を図る。